

**【施策評価調査】**

施策名	5-1-5	小学校における英会話学習の充実		115	国際化に対応できる児童・生徒を育成する。
	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部課	教育部	こどもみらい課	担当	学校教育	実施目的
			リーダー	阿久津 正	
環境変化					施策内容
					AET(英語指導助手)を継続的に配置し、児童が英語に慣れ親しむとともに、基礎的な英会話が習得できるよう努めます。また、英語を使ってのコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化体験活動を行うことにより、国際理解を深めます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：小学校における年間英会話学習時間数(時間)	平成16年度	計画	516時間	516時間	516時間	516時間	516時間
	396時間	実績	516時間	784時間	784時間		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	24,150,000	29,450,000	28,360,000	27,300,000	
	決算	24,150,000	25,995,951	24,250,000		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)			
AET事業	H21 現計 24,300,000	外国語活動・英語活動の年間授業回数 1・2年 10～12時間、3・4年 10～20時間、5・6年 35時間	児童が英語に慣れ親しみ、基礎的な英会話の習得やコミュニケーション能力を高めながら、異文化体験活動を通して国際理解を深められます。		今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 24,150,000					
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性(総合評価)	

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	現在小学校に2名、中学校に3名派遣しているが、小中一貫教育を見据えて、より柔軟な派遣計画としたい	
現状水準維持			
総合評価	後期計画に向け、これまでの事業内容を再精査し、成果が上がっているものなのか検証した上で、各施策の達成状況や優先順位を見極め、どこに資源を集中していくべきか明確にするとともに、新学習指導要領にあった施策展開を検討すること。		